

天白で教室

# 高齢者ら思い思いに 新聞ちぎり絵楽しむ

新聞紙を使った「新聞ちぎり絵教室」が18日、天白区の天白スポーツセンターで開かれ、60歳以上の市民が学ぶ市高年大学「鯉城学園」の卒業生でつくる「天白こじょう会」の会員約20人が参加した。同会が企画し、中日新聞販売店が講師



新聞ちぎり絵制作を楽しむ参加者  
天白区の天白スポーツセンターで

を派遣した。

参加者は、広告などのカラー面をちぎって下絵に貼り、花や動物など思い思いのちぎり絵制作を楽しんだ。ピンセットを使って細かい作業をしたほか、こよりを貼り付けて立体感を表現するなど工夫を凝らした。

スイカの絵を作った同区高島1の小島明さん(74)は「種をつけたり、奥行きを出したりするのが難しかった。初めてにしては上出来」と満足そうだった。同会は9月下旬、同区の天白生涯学習センターで会員による作品の展覧会を開き、

今回作ったちぎり絵も出展する予定。  
(渡辺隼弥)